

福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成26年10月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

燃料冷却を維持していくための安全確保に向けた取り組みを紹介します

- 当所は、現在、原子炉や使用済燃料プールにある燃料を引き続き安定して冷却していくことを最大の使命として取り組んでいます。
- 燃料冷却の仕組みやメンテナンスに関する日常的な取り組みについて、これまでシリーズで紹介してきましたが、今回は緊急時に備えた対応について特集します。
- 緊急時において、燃料冷却に必要な電源や電源喪失の際の注水手段を確保するための方策として、こうした状況にもすばやく対応するための取り組み（機動的対応）などを行っています。

<電源の確保>

- ・震災時の福島第一原子力発電所の全電源喪失事故を受け、原子炉や使用済燃料プールの冷却に必要な電気を供給するため、大容量のガスタービン発電機車（2セット）と電源車（11台）を構内の高台（海拔約46m）に配備しています。
- ・緊急時に向け、それらを的確に操作できるように、定期的に起動訓練を重ねています。



構内の高台に配備したガスタービン発電機車

<注水手段の確保>

- ・津波などの影響により原子炉や使用済燃料プールの冷却機能がなくなった場合の対応として、注水用に消防車（6台）を構内の高台（海拔約46m）に配備しています。
- ・それらの機材を的確に操作し、注水が確実にいけるよう、原子炉や使用済燃料プールへの注水専用配管と消防車とをホースで接続する訓練などを行っています。



構内の高台に配備した消防車

- ・緊急出動する際の消防車等の通路を確保するために、地震で陥没した箇所の復旧や津波で道路に散乱したガレキなどを撤去するため、重機や鉄板等を常備して訓練を行っています。



ガレキ撤去用重機の運転訓練

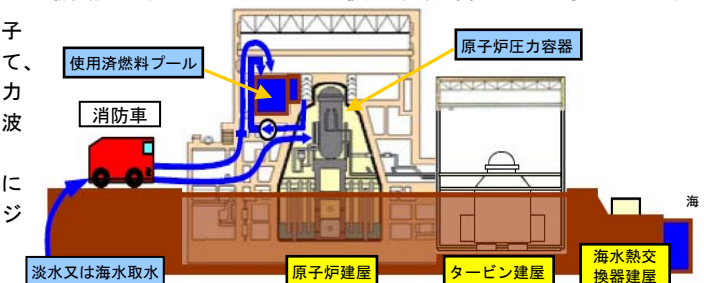
<仮設防潮堤の設置>

- ・東北地方太平洋沖地震の影響により発生が指摘されているアウトライズ津波への対策として、仮設防潮堤を設置しています。震災時と同程度の津波に対して、設備への影響を防ぐことができます。

- さらに燃料の健全性を確保することを目的として、厳しい条件下で燃料の貯蔵や冷却設備等の評価を行うこととしました。そのため、新規基準や最新の知見により、発電所において最も厳しい条件となる地震動（水平最大900gal）、津波（海拔27.5m）を策定しました（発生確率は1万年から100万年に1回程度）。
- これらの地震動や津波に対しても、原子炉建屋や使用済燃料プール等は維持されること、また、冷却機能を喪失した場合においても、消防車等による機動的対応で燃料の健全性は確保できることを確認しています。今後、詳細に評価を行い、冷却設備の強化等について検討を重ねます。

○機動的対応のイメージ（使用済燃料プール等への注水）

- * 原子力規制委員会の特定原子力施設監視・評価検討会にて、今回策定した福島第一原子力発電所の検討用地震動、津波を公表しています。策定にあたり検討した内容については、当社ホームページを参照願います。



<URL>

http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/handouts/2014/images/handouts_141003_04-j.pdf

当直員による消防訓練を行いました

- 当所では、日頃から防災活動に取り組んでいます。
当所の中で、常にプラントの一番近くで働き、24時間監視しているのは当直員です。万一、プラントの近くで火災が発生した際、すみやかに消火活動が行えるよう、当直員による消防訓練を行いました（年1回実施）。
- 主に発電所構内の防火活動を担っている委託協力企業社員による指導のもと、消火設備の使い方から放水までを訓練として行いました。
- 消防資機材など普段使う機会がないので、この機会を捉え、ホースの接続から、消防車への水の補給、消防車の操作、放水にあたっての構えなど、参加した当直員は、熱心に説明を聞き、真剣に取り組ましました。
- 当所では、様々なケースを想定し、今後も防災活動に取り組んでいきます。

○消防訓練の状況



協力企業社員による操作説明



ホースの接続



消防車の操作



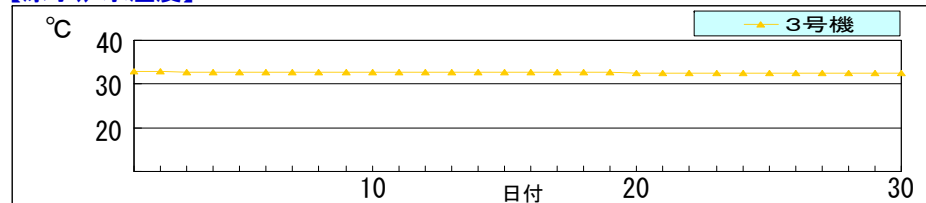
放水

【プラントデータ】

燃料の冷却状況（9月分）

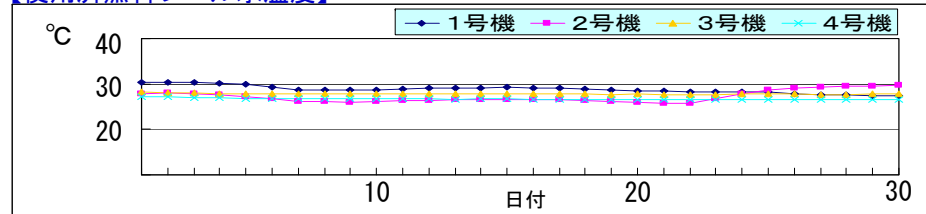
原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

【原子炉水温度】



1号機は平成26年7月10日、2号機は平成25年10月16日、4号機は平成24年10月24日に、原子炉内から764体の燃料すべてを取り出し、使用済燃料プールへ移動しました。

【使用済燃料プール水温度】



さらに詳しい情報は当所ホームページをご覧ください。

<URL>

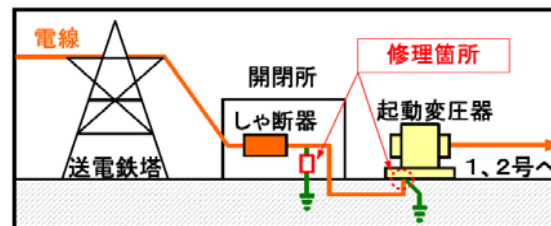
<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

<QRコード>



発電所で使う電気設備（1、2号機共用の起動変圧器）の修理を行いました

- 本年1月、2台あるうち1台の起動変圧器と開閉所をつなぐケーブル接続部で異音を確認したことから、当該の起動変圧器を修理しました。もう1台の起動変圧器については、特に機能等に問題はありませんでしたが、さらなる信頼性向上をはかるため、同様に修理しました（10月9日完了）。
- 修理にあたっては、受電中の起動変圧器が1台のみとなることから、トラブル発生時の電源確保を確実に燃料冷却に万全を期すため、非常用電源の待機状態の確認、3、4号機側からの電気の流通、対応要員の確保等、態勢を整えました。



起動変圧器

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。

【お問い合わせ】福島第二原子力発電所 企画広報グループ
tel 0240-25-1353 受付時間(平日)午前9時～午後5時